

ご あ い さ つ

岐阜県立関特別支援学校長 佐藤 秀樹



岐阜県立関特別支援学校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

当校は昭和41年に岐阜県における最初の県立養護学校としてここ向山（桐ヶ丘）の地で開校しました。以来、肢体不自由の児童生徒を教育する中核的な学校として、岐阜県の特別支援教育の一翼を担ってきました。平成27年度には50年の節目の年を迎えるとともに、病弱者も対象として新たな歩みを始めたところです。

校 訓

尽 力 必 成（じんりよく ひっせい）

校訓の「尽力必成」は、当校で学ぶ児童生徒がどのような姿勢で学ぶかを表現したもので、校歌にも「理想を高くかかげつつ、まなびの道にはげみあい」と歌われています。校訓が示す「力を尽くせば何事も達成できる」という力強い言葉は、建学の精神として今に受け継がれています。



校章

校章は「さんざし（山査子）の花」を図案化したもので、中央にある「Y」は成長する若芽を表しています。5月の花（メイフラワー）とも呼ばれ、その花言葉は「希望」や「誠実」です。校歌に「強く明るく生い育つ」と歌われるように、児童生徒が、希望と誠実さをもってたくましく生きていってくださることを願ったものです。そのためにも、私たち教職員は率先垂範で児童生徒と共に「希望」を語り、「誠実」に学び続け、校訓の「尽力必成」



山査子の花

の精神で、校歌にある「不屈の気概」で、「強く明るく」活力のある学校を目指してまいります。

今年度は、小学部4名、中学部3名、高等部9名の新入生と中学部に1名の転入生を迎え、全校児童生徒54名でスタートしました。校内には中濃特別支援学校の分教室もあり、昨年度から学校祭を共催し、授業でも交流を深めています。

なお、このホームページには、関特別支援学校の概要や学校行事、進路状況、学校評価、地域支援事業等、多くの情報を掲載しています。当校についてご理解を深めていただくとともに、その魅力も知っていただくと幸いです。

子どもたちは、保護者の皆様や地域の皆様の春風のような温かさに包まれながら、社会参加・自立への道を一步一步と進んでおります。今年度も、一層のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

【平成30年4月】